

家庭菜園を楽しもう!

VOL.8

春に備えた土づくり



作者:ヤンマー農機販売(株)
宮崎(ジュニア野菜ソムリエ)

成長の盛んだった夏に比べ、気温の低い冬は成長が滞りがちになる季節です。この時期は通常の栽培管理に加えて、春に備えた土づくりをするのも大事な作業のひとつになってきます。

今号は、少し早いですが冬場におすすめしたい土づくり作業として、「天地返し」と「有機物の施用」のご提案です。

冬場におすすめの作業

天地返し

同じ場所で何度も栽培が続くと、人間も働きすぎると疲れて休みが必要のように、土もくたびれてきます。栽培できる野菜の数が減ってくる冬場は、休耕を兼ねて天地返しをすることをおすすめします。「天地返し」とは、土の表面から10cmくらいまでの土と、その下の深い部分の土を入れ替えることです。

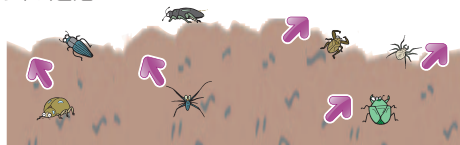
表面から10センチほど
入れ替える



天地返しの効果

効果①

太陽の光に当てることで、土中の有害な菌や虫を退治!



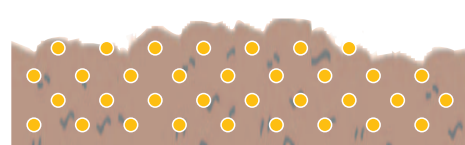
効果②

下層まで酸素を入りやすくする!



効果③

表層にかたよっていた養分を下層まで均一にする!!

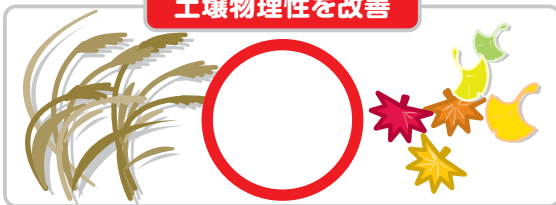


有機物の施用

冬場の土づくりでは、肥料効果よりも保水性や排水性などの土壌の物理性の改善を目指して、有機物を施用します。有機物としては落ち葉堆肥や稲ワラなどの植物性のものが望ましいです。鶏糞や豚糞などの動物性のものに比べて、植物由来のものは分解が遅く腐植成分が多く含まれるため、肥料としての効果は期待できませんが土壌の物理性改善の効果を発揮します。※「腐植成分」:有機物の分解過程でできる土壌特有の物質。物理性改善には欠かせない要素。

有機物の施用の効果

土壌物理性を改善



肥料効果が高い



土壌物理性とは?

排水性や保水性、土壌の硬さや構造などの土壌の性質のことです。物理性に優れた土壌は、収量・品質が良く、栽培管理もしやすくなります。

肥料は、普段無意識に多く施用してしまいがちなので、冬場は天地返しや植物性有機物の施用をすることで、栄養過多だった土壌を整えましょう。

ショウガで体を温めよう

冬の気配が近づいてきた今の時期におすすめしたい野菜がショウガです。

ショウガの辛味の主成分「ジンゲロール」や「ショウガオール」には血行を良くして体を温め、発汗作用があるとされ、冷え性に悩む女性から注目が高まっています。風邪の特効薬として生姜湯にして飲まれたり、肉や魚のにおいを抑えるために料理に使われたりと、昔から日本人の生活に深く溶け込んでいる野菜の1つです。

通年供給されているショウガは、春から初夏に葉ショウガ・茎ショウガ、秋から冬にかけては根ショウガが旬を迎えます。冬は普段の生活に生姜を取り入れて、体を内から温めることをおすすめします。



生姜シロップを使った
ジンジャーエール

次号VOL.9は **来春からの作付け計画** についてです!

